

## 「いのしし」

机(ババアニューギニア)



仮面(ネパール王国)

会期: 2007年1月30日(火)まで

場所: 本館1階 エントランスホール(無料ゾーン)

今年は十二支のアンカーをつとめるイノシシの年。とはいえ、干支にイノシシは日本だけ。中国や韓国をはじめ、東アジアの諸地域ではブタ年です。害獣として敬遠される反面、どことなくユーモラスな風貌から憎みきれないイノシシ。タブーの動物と嫌われることもあれば、財産の象徴として崇められることもあるブタ。イノシシとブタに色々な意味づけを与えてきたのは、人間に身近な存在だからこそ。新春恒例の今年の干支展では、人間が自分たちの姿を重ね合わせてきたイノシシやブタが皆さんをお迎えします。



絵馬(日本)

### 編集後記

今年はイノシシ年。ただ、残念なことに、日本ではイノシシのイメージはあまりいいとはいえない。いのしし武者ということばがあるように、勢いはいが思慮に欠けるとされる。こうした、日本人のイノシシに対するイメージの形成に一役買ってきたのは、猪突猛進ということばではなかったかと思われる。これは、一般的には、あとさきを考えずに突っ込むこと、と解されている。

だが、猪突ということばだけを辞書で調べてみると、広辞苑ではやはり「むこう見ずに一直線に進むこと」とあるが、白川静の『字通』では単に「勢いの鋭いこと」とあって、そんなに悪い印象はない。

だとすると、猪突猛進というのも、もとはさほど悪い意味ではなかったというのもありえない話ではない。あえて大胆に推理すると、猪突に猛進がくっついて、その猛進がいつしか盲進と混同されて、あとさき考えず、となったのかもしれない。

いずれにせよ、前回1995年のイノシシ年は、日本では阪神淡路大震災に地下鉄サリン事件と、散々な年であった。今年は、どうなるのだろうか。平和で幸福な1年であってほしいと願わずにはいられない。(川口幸也)



次号予告/2月号特集  
**災害**

2007年1月号

第31巻第1号通巻第352号  
2007年1月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1  
電話06-6876-2151

発行人 朝倉敏夫

編集委員 池谷和信(編集長) 榎永真佐夫  
川口幸也 庄司博史 山中由里子

協力 財団法人 千里文化財団

制作 株式会社博報堂

製版・印刷 アサヒ精版印刷株式会社

●本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係へ  
●本誌掲載記事の無断転載を禁じます

〈訂正とお詫び〉 本誌12月号巻末索引13頁に誤りがありました。「東アジア(朝鮮半島)」に入っている「19303千島アイヌの腰帯」「19306アイヌの煙草入れ」「19307アイヌのアットウシ・アミブ」「18602アイヌの木盆」「19411アイヌの首飾り」は、正しくは14~15頁の「東アジア(アイヌ)」のなかに含まれるものです。読者の皆様にお詫び申し上げます。

### 交通案内

■大阪・千里万博記念公園内 ●大阪モノレールで「公園東口駅」・「万博記念公園駅」下車徒歩約15分。 ●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車徒歩約15分(茨木方面から1時間1本程度、日本庭園前駐車場乗り入れのバスがあります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。 ●自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。 ●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

